

SHIGA MUSEUM of ART

滋賀県立美術館
展覧会のご案内
SCHEDULE



2026.4-
2027.3



2026. 4.17金～6.21日

ためして、みる展

さわって 照らして ねそべて!? アートを楽しむ10のトライ

たたみの上に寝そべて見たり、双眼鏡や顕微鏡で見たり、暗闇の中を懐中電灯で照らしたり。当館の所蔵作品をふだんの見かたとは異なる10の試み(トライ)で、自分のからだや様々な道具を使って鑑賞する、大人も子どももワクワク楽しめる参加型・体験型の展覧会です。



© Kenneth Noland/VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2026 E6309

2026. 7.3金～8.30日

コレクター福富太郎の眼

昭和のキャバレー王が愛した絵画

かぶらさきよかた 福富清方の優品十数点や、多彩な顔ぶれの作家による日本画の女性像、明治期以降の油彩画、戦争の時代を描いた絵画など、昭和の「キャバレー王」として知られた福富太郎(1931-2018)が、独自の視点と価値観によって蒐集したコレクションから選りすぐりの約80件を紹介します。



北野恒富《道行(部分)》1913年頃 福富太郎コレクション資料室蔵

2026. 9.11金～11.23月・祝

丸木スマ展(仮称)

丸木スマは1875年広島生まれ。懸命に働いて4人の子どもを育て上げたのち、1945年、原爆に遭います。夫を亡くしたスマは、息子で水墨画家の丸木位里と、その妻で油彩画家の俊子に勧められ、70歳を過ぎて絵を描き始めます。身近な動物や魚、四季の花々を色彩豊かにこのびのびと表現した作品は日本美術院展でも評価され、時代の注目を集めました。本展では、埼玉県東松山市の原爆の図丸木美術館の収蔵品を中心に、故郷広島に伝わる作品を交え、生命力あふれる作品世界を紹介します。



丸木スマ《鸞》1955年 原爆の図丸木美術館蔵

2027. 1.15金～3.22月・振休

佐川晃司展(仮称)

滋賀県内の里山にアトリエを構える佐川晃司(1955-)。菱形や三角形を基本的な構成単位とする彼の絵画を眺めると、作品と身体とを包含する場が立ち現れてくるような感覚が訪れます。そんな佐川の作品は「見る」という行為の本質を探究するものとして高く評価され、国内の主要美術館で個展が着実に開催されてきました。本展は、混沌とした時代にこそ体験してほしい、心静まる場としてキュレーションされます。



佐川晃司《半面性の樹塊 No.56》2007年 滋賀県立美術館蔵

	2026	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2027	1	2	3
企画展		3/28日～4/5日 滋賀県美術協会第70回記念展	4/17金～6/21日 ためして、みる展 さわって 照らして ねそべて!? アートを楽しむ10のトライ		7/3金～8/30日 コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画		9/11金～11/23月・祝 丸木スマ展(仮称)			12/9日～12/16日 第80回 滋賀県美術展覧会			1/15金～3/22月・振休 佐川晃司展(仮称)	
常設展		2/25日～5/10日 展示室1 I期	5/22日～8/30日 展示室1 II期				9/5日～11/23月・祝 展示室1 III期					12/9日～4/4日 展示室1 IV期		
		2/25日～5/10日 小倉遊亀コーナー I期	5/22日～8/30日 小倉遊亀コーナー II期				9/5日～11/23月・祝 小倉遊亀コーナー III期					12/9日～4/4日 小倉遊亀コーナー IV期		
		2/25日～5/10日 展示室2 I期	5/22日～8/30日 展示室2 II期				9/5日～11/23月・祝 展示室2 III期			12/9日～12/16日 第80回 滋賀県美術展覧会		12/22日～4/4日 展示室2 IV期		
ギャラリー		スケジュールについては美術館ホームページをご覧ください。				スケジュールについては美術館ホームページをご覧ください。					スケジュールについては美術館ホームページをご覧ください。			

常設展(展示室1・2)

当館のコレクションを2つの展示室で紹介します。展示室1では日本画と滋賀の郷土美術を中心に、展示室2では現代美術とアール・ブリュットを中心に展示します。展示室1には、滋賀県大津市出身の日本画家・小倉遊亀(1895-2000)の作品を常設展示する「小倉遊亀コーナー」を設けています。当館の多彩なコレクションとの出会いをお楽しみください。



小倉遊亀《童女入浴》1926年 滋賀県立美術館蔵



杉田静山《榎目交差紋花籠》1968年 滋賀県立美術館蔵



ロバート・ラウシェンバーグ《ゲート(北)》1982年 滋賀県立美術館蔵 © Robert Rauschenberg Foundation/VAGA at ARS, NY/ASPAR, Tokyo, 2026 E6309



塔本シスコ《エイサー水口》2001年 滋賀県立美術館蔵

展示内容によって作品を入れ替えるため、常に展示されているわけではありません。

毎週土曜日・日曜日は常設展が無料に フリーサタデー フリーサンデー

毎週土曜日は、一般社団法人インダ三方良しの会・株式会社インダ様のご寄附による「インダフリーサタデー」、毎週日曜日は、株式会社 木の家専門店 谷口工務店様のご寄附による「木の家専門店 谷口工務店フリーサンデー」を開催しています。これにより、毎週土曜日・日曜日は常設展示を無料でご覧いただけます(休館日を除く)。
※滋賀県立美術館サポーター(密附)制度に基づくご寄附により実施しています。



その他の展示

展示室3 2026.3/28日～4/5日 滋賀県美術協会第70回記念展

展示室2・3 ギャラリー 2026.12/9日～12/16日 県展「第80回滋賀県美術展覧会」

ギャラリー 2026.10/11日～10/18日 第65回滋賀県写真展覧会

ご利用案内

開館時間 9:30～17:00 (チケット販売は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館)、8月31日(月)～9月4日(金)、11月24日(火)～12月8日(火)、12月17日(木)～12月21日(月)、年末年始[12月28日(月)～2027年1月4日(月)]

観覧料 常設展
一般:570円(団体:460円)、大学生:340円(団体:280円)
※高校生以下、18歳未満、滋賀県内居住の65歳以上、身体障害者手帳等をお持ちの方とその介助者は無料。
※常設展を開催していない期間があります。

企画展
展覧会によって異なります。
(企画展の観覧券で当日に限り同時に開催している常設展示も観覧いただけます。)

交通のご案内 電車・バスをご利用の場合
JR琵琶湖線 瀬田駅下車、帝産バス「大学病院行」に乗り約10分、「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」で下車(便によって停まるバス停が異なります)、徒歩約5分



車をご利用の場合
新名神高速道路 草津田上インターを下り約5分、びわこ文化公園の駐車場(無料・3カ所)から徒歩約5分



※高齢や障害などで歩行が困難な方がいらっしゃる場合は、東駐車場側のゲートから美術館エントランス前の専用駐車場まで乗り入れていただけます。



Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1(びわこ文化公園内)
TEL 077-543-2111 FAX 077-543-2170 <https://www.shigamuseum.jp/>

発行者: 滋賀県立美術館 発行日: 2026年3月19日 印刷: 富川印刷株式会社

滋賀県立美術館は、
自然豊かな「びわこ文化公園」の
中にあります



公園の中の
リビングルームのような
美術館



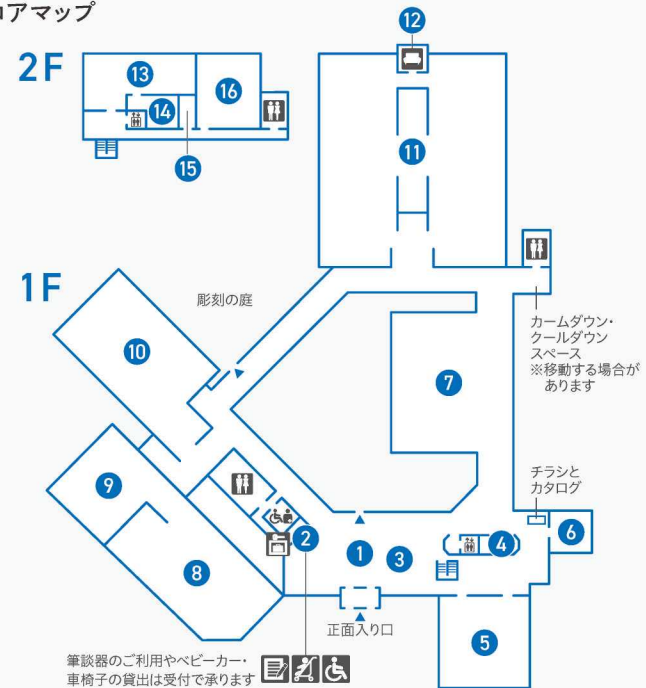
1 ロビー※



13 キッズスペース※

FLOOR MAP

フロアマップ



- 1 ロビー
- 2 受付
- 3 カフェ・ミュージアムショップ
- 4 ポップアップ・ギャラリー
- 5 木のホール
- 6 ラボ
- 7 ギャラリー
- 8 展示室1
- 9 小倉遊亀コーナー
- 10 展示室2
- 11 展示室3
- 12 ソファのある部屋
- 13 キッズスペース
- 14 ファミリールーム
- 15 ファミリートイレ
- 16 ワークショップルーム

FACILITIES

施設案内/バリアフリー情報

- 設備** 多目的トイレ、ファミリートイレ、車いす(4台)、ベビーカー(2台)、ファミリールーム(授乳・搾乳スペース、給湯器あり)、キッズスペースを備えています。カフェ・ミュージアムショップではグッズのほか、ドリンクや軽食も扱っています。
- キッズスペース** アートに関連する絵本や積み木などを置いています。小さいお子さまと一緒に本を読んだり、休憩したりいただけます。 **無料 飲食可能**
- ギャラリー** 団体や個人の皆さんによる様々な展示が行われています。スケジュールについては美術館ホームページをご覧ください。
- カムダウン・クールダウンスペース** 外部の視線や音を遮断して気持ちを落ち着かせることのできる、簡易的なスペースです。スタッフに声をかけずに、自由にご利用いただけます。



3 カフェ・ミュージアムショップ

7 ギャラリー

14 ファミリールーム※

(※マークの写真的撮影:大竹 央祐)

LEARNING PROGRAM

ラーニングプログラムのご紹介

子どもから大人まで、美術に親しんでいただけるプログラムを開催しています。



- ギャラリートーク** 学芸員と一緒に展示室をまわりながら、展覧会や作品、作家の魅力にせまっています。
- 対話鑑賞** ボランティアのファシリテーターと一緒に、みなさんが作品から気づいたこと、気になったことを言葉にして鑑賞を楽しみます。常設展開催日の毎週土日のプログラムです。

- 地域連携** 市や町が主催するイベントでのワークショップや、生涯学習センター、大学等から依頼を受けて連携するイベント、学芸員による講座などをおこなっています。
- スクールプログラム** 小・中・高・特別支援学校などの団体鑑賞の受け入れや、学校への出前授業をおこないます。また、教員に向けた研修もしています。

- ワークショップ** 鑑賞と創作を組み合わせた「たいけんびじゅつかん」や創作を中心としたプログラムなどの、子どもを対象としたワークショップです。



詳しくは美術館ホームページをご確認ください。

小さなお子さんがいる、障害があるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ

当館では、展示室でもしんと静かにする必要はなく、おしゃべりしながら過ごしていただけます。また、目が見えない、見えづらいなどの理由でサポートや展示解説をご希望される場合や、その他、来館にあたって不安がある場合には、事前にご連絡ください。事前の情報提供や、当日のサポートのご希望に、可能な範囲で対応いたします。

お得な滋賀県美メンバーズ(年間パスポート)入会受付中!

年会費 一般:2,500円、高校・大学生:1,650円、小・中学生:1,250円

- 特典**
- ・有効期間内(登録の日から1年)はすべての展覧会を何度でも観覧可
 - ・館内カフェでドリンク5%OFF
 - ・展覧会情報を郵送やメールでお届け

◎お申し込みは館内受付まで。プレゼント用に購入いただくこともできます。

最新情報はホームページや公式SNSで発信中

